



助けあい 支えあいで 縁結び

あいあいねっと通信

1月

謹んで新春のお慶びを申し上げます。今年も皆様のご健勝でご多幸でありますよう、心からお祈り申し上げます。

2023年は、コロナで中止となっていたイベントが各地で開催され、あいあいねっとの活動も忙しくなりました。マイクロン財団寄付事業として、臨床社会学者の春日キスヨ先生をお迎えし、「超高齢社会の介護を考える」と題した講演会とシンポジウムを、10月18日に行いました。参加者からは、「いつか介護が必要になるとは思うが、具体的に家族と話をしたことがない。経済的なことも含め、考えなければと思う。」などの感想が聞かれました。11月16日には、京都大学準教授の藤原達史先生の講演会とフードバンクシンポジウムも開催しました。食を通すことで、色々な社会問題が見えてくることを改めて感じるお話しでした。どちらの講演会も大変好評でした。11月16日の動画をHPにupしていますので、ぜひご覧ください。

その他にも、鈴張公民館にてフードバンク人形劇の披露したり、(9月9日)、「ひまわり&おりづるフェスタ」(8月27日)や、食品ロス削減イベント「スマイル!ひろしま広場」(10月29日)では、フードバンク活動のPRや食品ロス問題を楽しく学べる、すごろくとかるた(写真)を行いました。「食と農の映画祭」(11月

10日~16日)では、活動のPRやトークショーに代表の原田が登壇しました。食品ロスや介護など、多くの方と問題を共有できたように思います。外部でもイベントが盛んに行われ、広島文教大学様、観音高校様(写真)、モランボン株式会社様より、フードドライブで集まった食品の寄贈もありました。ありがとうございました。



2023年度の食品取扱量は、約39トとなりました。ここ数年で、フードバンクを活用する企業・団体が増えており、現在食品を寄付してくださる企業は69団体、食品を活用する団体は、73団体です。団体の増加を受けて、マイクロン財団様より寄付をいただき、食品を管理する団体BOXや小型の冷凍庫等を増設しました。

個人食料支援は、2020年4月から2023年12月末までに累計1139件(月平均44件)、月に2回開催している食料無料配付会も、毎回50件前後と徐々に世帯数が増えています。度重なる食料品や光熱費の値上げを受け、どちらの取り組みも、必要とされている方の不安が少しでも軽くなるように、できる限り寄り添える活動であるよう、今年も昨年に引き続き、地域のボランティアさんと力を合わせ、取り組んで参りたいと思います。

★日々の活動は、facebook で公開中

食べ物は食べるためにある！ “もったいない” のない社会を創る！



フードバンク活動

食品ロス削減活動

健康づくり活動・まちづくり活動

私たちは、食品関連企業から、規格外・包装破損・印字不良などの理由で、食べ物としては品質にまったく問題がないにもかかわらず、商品として扱えなくなった食品(食品ロス)を無償提供していただき、それを食べることに困っている人々のもとに届けるとともに、地域の活性化に活かしています。

【編集・発行】

社会福祉法人 正仁会 あいあいねっと

■住所：広島市安佐北区可部3-9-21

■TEL：082-819-3023

■FAX：082-815-6666

■Email：aiainet@nagominosato.jp

■web：http://www.aiainet.org/



健康まるごと応援団

社会福祉法人 正仁会



『新年にあたって』

社会福祉法人正仁会 フードバンク事業 あいあいねっと代表 原田佳子

明けましておめでとうございます。

新年早々、私事で恐縮致しますが、今年は、辰年。私は、6回目の年女となりました。「光陰矢の如し」とは、実によく言ったものです。特に、あいあいねっとを立ち上げてからは、目まぐるしく日々が過ぎていき、わが年齢など気にする間もないほどでした。

さて、あいあいねっとは、昨年、大きなイベントを3回行いました。いづれも著名な講師を招聘し、たくさんの方々に視聴いただき、私も、実に多くの貴重な学びを得ることができました。中でも心に残っているのは、ある講師の「食べ物を粗末にする国は、人も粗末にする」という言葉でした。その国のあり様を実に上手く端的に言い表したものだと思えます。

あいあいねっとは、活動当初より、「食べ物を無駄にしない、だれもが安心して暮らすことのできる地域社会を実現する」をミッションに、生活困窮者支援、まちづくり・健康づくり、食品ロス削減の3つを柱に、様々な活動を展開して参りました。将に、先の講師の言葉を具現化する活動であります。

「食べ物を山ほど捨てている一方で、食べることに困っている人もいる。良いものをより安くたくさん売って競争をすることで社会は物質的には豊かになっていったけれど、同時に失ったものやこともある。食品ロスも貧困も、さかのぼれば原因は同じ社会の枠組みの中にある。」そうした世の中の仕組みや流れをしっかりと把握し、あいあいねっとは、本年も、活動に邁進してまいります。

旧年同様、引き続き皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

私たちの活動をご支援いただいている事業者様・団体様をご紹介します

- ◆旭食品株式会社広島支店◆株式会社あじかん◆有限会社アトラス・コーポレーション
- ◆アルフレッサファーマ株式会社◆アヲハタ株式会社◆株式会社イズミ
- ◆イズミ・フード・サービス株式会社◆株式会社うすい中華麺◆株式会社エコールドフルール
- ◆江崎グリコ株式会社◆株式会社 SKY コーポレーション◆NTT 労働組合中国総支部
- ◆株式会社エムズホーム◆株式会社 M&K◆株式会社 M&C コラボレーション◆おおたけ株式会社
- ◆株式会社沖野建築設計◆有限会社オフィスシン◆キューピー株式会社広島支店
- ◆医療法人社団恵正会◆有限会社健康宅配ネット◆カルビー株式会社◆株式会社三幸産業
- ◆有限会社山菜木村◆ジャパンフード株式会社◆スターライト工業株式会社◆生活協同組合ひろしま
- ◆株式会社そごう・西部 そごう広島店◆田邊農園株式会社◆ダイキョーニシカワ株式会社
- ◆ダイハツ広島販売株式会社◆株式会社ダイヤス食品◆チヤス株式会社◆中国電力株式会社
- ◆中電環境テクノス株式会社◆東京海上日動火災保険株式会社
- ◆東芝テックソリューションサービス株式会社◆戸田建設株式会社
- ◆株式会社トーホーフードサービス◆株式会社ナリコマエンタープライズ◆有限会社ニシオカ
- ◆西日本高速道路パトロール中国株式会社◆広島アグリフードサービス株式会社
- ◆広島駅弁当株式会社◆広島ガス株式会社◆公益財団法人広島市農林水産振興センター
- ◆広島総合警備保障株式会社◆広島海苔株式会社◆広島バスセンター◆広島森永乳業株式会社
- ◆株式会社フォーリーフ◆藤井医療器株式会社◆株式会社藤三◆株式会社 vegeta
- ◆株式会社ポプラ◆マルコメ株式会社◆マルサンアイ株式会社
- ◆マックスバリュ西日本株式会社◆株式会社マルバヤシ◆ミック株式会社
- ◆三菱地所株式会社及び三菱地所プロパティマネジメント株式会社◆株式会社ミライト
- ◆株式会社ミルックス広島支店◆明治安田生命保険相互会社
- ◆山崎製パン株式会社広島工場◆株式会社ユアーズ
- ◆ゆかり屋本舗株式会社◆株式会社ユキ・コーポレーションラ・パン◆株式会社良品計画

みなさま、いつもありがとうございます！



パートナーさんのご紹介

【NPO 法人ブエンカミーノ】様は、農業体験を通じた若者の自立支援を行っている団体です。これまで、収穫祭やワークキャンプなどを通して、自立支援と地域交流を行ってこられました。いつも笑顔いっぱい楽しそうに活動をされています。この度、地域共生を目指し、農場の採れたて野菜を使ったランチの提供を素敵な古民家で始められたので、ご紹介いたします。

誰一人取りこぼしのない地域共生を目指して

特定非営利活動法人ブエンカミーノ 坂田 幸代

NPO 法人ブエンカミーノは、若者自立支援団体として長年活動するなか、コロナ禍を機に、とくに子育て世代や一人暮らしの高齢者の孤立が身近で問題となるようになりました。また、リモートワークやリモート授業で孤立する一人暮らしの若者たちからのSOSも増加。出かけていく先がない、日中の居場所がない、そんな人達の声が多く聞かれるようになりました。そこで、昨秋(2022年)「地域交流フリースペースOKAZAKI」(通称：岡崎ハウス)を開所いたしました。

現在では、週3日(月水金)に開所し、季節折々の野菜を使用したお膳をコミュニティカフェとしてお昼時に提供しています。コミュニティカフェでは、当団体の農場で収穫された野菜やフードバンクあいあいねっとさんからご提供いただいた余剰食材をメインに使用しております。また、月曜日には不登校や行き渋りのある子ども達の居場所事業

「OKAZA キッズ」、金曜日には広島市オープンスペース「子育てサロンノナのリビング」を運営しております。ここでもコミュニティカフェに来られる方も不登校の子ども達、子育て親子も同じ食事を地域の皆様と一緒にとります。いずれの曜日にも、お友達と来られる方、一人で来られる方、たくさんの方が岡崎ハウスを訪れ、食卓と一緒に囲みランチを楽しむことができる地域交流、孤立の予防の場として機能し、人と人とのつながりを広げていく足がかりとなっております。

これからもだれ一人取り残されることのない地域共生社会づくりを目指して活動していきたいです。





『人間として、よりよく生きる』

社会福祉法人正仁会 業務執行理事 松林克典

あいあいねっと通信 2024 年 1 月号の発行に伴い一言ご挨拶申し上げます。

通常、年明け第一号の刊行物ならば「おめでとう」や「Happy」の言葉を添えて出だしを飾るのが通例と思われますが、世界があまりにも混沌としており、まったくお祝い気分を醸し出す雰囲気ではありません。

世界を代表する二大国が大きく関与する紛争は絶え間なく続き、日々、多くの若者の命が削られています。そのため、毎日、悲しみを深くする暗いニュースが飛び交っています。中東の火種が大きく燃え広がるようなら、東の果ての我が国にも大きな戦禍の悪影響は免れないでしょう。今年は、さらなるカオスが深まる懸念があります。地球規模の温暖化も、国連の事務総長は「地球沸騰化の時代が到来した」と発言し、温暖というマイルドな言葉では表現できない状況に陥っていることを示唆しています。

ヒト属（ホモ属）はおよそ 200 万年前にアフリカでアウストラロピテクス属から分化し、現生人類であるホモ・サピエンスは 25 万年～40 万年前に現れたとされています。長い時を経ながら最近の 5 千年の間に文明が開かれ、文字の開発とともに知識と経験が培われ、18 世紀後半の産業革命以降のおよそ 150 年は、急速に発展してきました。多くのことを学び、開発し、文化の発展を興し、生活の利便性を高めながらも、これまで幾度となく争いの火蓋が切られ、多くの仲間を死に追いやってきました。今や、その暴挙は地球そのものを破壊に導き、消滅させる勢いで自滅の道を歩んでいます。なぜこのように愚かで無慈悲なことが繰り返されるのでしょうか？

人には知恵があります。知恵があるからこそ先をイメージ化することができます。イメージ、シミュレーションは人にしかできない行動です。そして、私たちは誰にも死が訪れることを知っています。その先は、現世ではありません。存在脅威管理理論（terror management theory；恐怖管理理論ともいう：グリーンバーグら、1986）では、その死という恐怖を克服するために自尊感情を得るといふ心の防衛反応メカニズムがあると言います。自尊感情とは、自分に対する好きとか嫌いといった評価的な感情のうち、特に好きといった感情です。私たちには死という終わりがあることを知っているからこそ、心の防衛反応によって今をしっかりと生きようとするのです。しっかりと生きようとするために他者を傷つけるという行為は、倫理的に許される行為でないことは誰でも知っているはずで、この倫理は、人間が何千年もの間に培ってきた知恵です。いかに世の中が複雑多岐にわたっても、多様な価値観が存在したとしても、もう少し一人ひとりが人間らしくあるべきではないでしょうか。そうでなければ私たちは地球上のあらゆる生物、あるいは地球そのものの害悪にしかなり得ません。

バーチャル（仮想現実）の世界に没入する人も多くいます。しかし、バーチャルのみでは生きてはいけません。現実空間において、私たちはもう少しよりよく生きることを心がける必要があります。人間として。

.....2024年のあいあいねっとの活動予定!!.....
みんなで考えよう！心豊かな暮らし
～ちょっぴり笑えて、ためになるお話と映画～



あいあいねっとでは、『みんなで考えよう！心豊かなくらし～ちょっぴり笑えて、ためになるお話と映画～』というタイトルで、身近な話題を取り上げ、気軽に学べて、みんなが笑って元気になるミニ講座と映画上映会を開催する予定です。「普段は、映画を見ようと思っても遠くて出かけられない、介護の話ってちょっと気になるけれど、難しいし気分が暗くなるから気が進まない。」という声から、地域の方が笑顔になり楽しく学べる場所を作ろうと企画しました。現在、1月26日（金）から3月30日（土）まで、第6回までの開催を予定しております。参加は無料です。ご家族やご友人と楽しいひと時を過ごしませんか？詳しくは、別紙をご覧ください。

*このイベントは、『「こまった」を解決する社会づくり』マイクロン財団寄付事業により運営しています。